

定例会提出予定案件資料

	ページ
1 令和4（2022）年度補正予算概要……………	1
2 令和5（2023）年度予算概要……………	2
3 令和5（2023）年度公益財団法人 北海道学術振興財団 事業計画の報告について……………	3～5
4 令和5（2023）年度一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構 事業計画の報告について……………	6～10

1 令和4（2022）年度補正予算概要

一般会計

[歳入]

(単位：千円)

科目	補正額	説明	明
指定寄付金	13	地域振興基金分	13

[歳出]

総務費

(単位：千円)

科目	補正額	説明	明	特定財源
企画費	11,679	地域振興推進費減	△ 200	
		各種大会補助金減	△ 200	
		市民協働推進費増	5,337	
		地域交流まちづくりセンター運営対策費	5,337	
		公共交通整備促進費増	1,800	
		ユニバーサルデザインタクシー購入費補助金	1,800	
		青函連絡船記念館摩周丸運営経費増	4,742	
		青函連絡船記念館摩周丸運営対策費	4,742	

[繰越明許費]

(追加)

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
2 総務費	1 総務管理費	ユニバーサルデザインタクシー購入費補助金	1,800

2 令和5（2023）年度予算概要

一般会計

[歳出]

総務費

(単位：千円)

事項	予算額	説明	特定財源
広報広聴関係経費	97,414	市政はこだて発行費 80,541 函館市Webページ管理関係経費 8,864 テレビ・ラジオ放送費 ほか 8,009	(その他) 広告収入 4,559 その他の雑入 64
地域振興推進費	8,998	定住者誘致推進事業費 3,594 政府予算関連等要望経費 ほか 5,404	(地方債) 過疎地域持続的 発展特別事業債 2,000
国際水産・海洋都市構想推進費	125,200	国際水産・海洋総合研究センター 管理運営経費 100,890 一般財団法人函館国際水産・ 海洋都市推進機構補助金 14,386 臨海研究所管理運営経費 ほか 9,924	(その他) 国際水産・海洋 総合研究センター使 用料 11,593 臨海研究所使用 料 3,339 その他の雑入 3,248
地域水産業創生事業費	67,442	地域水産業創生計画推進費 20,299 大学振興・地域水産業創生事業補助金 47,143	(国)地方大学・ 地域産業創生交 付金 41,327 (その他) 地域振興基金繰 入金 26,100
市民協働推進費	54,384	地域交流まちづくりセンター管理運営経費	
広域行政推進費	4,164	渡島総合開発期成会負担金 ほか	
国際化施策推進費	46,544	地域国際化促進費 11,000 ロシア極東連邦総合大学函館校 支援補助金 30,000 姉妹都市交流推進費 ほか 5,544	(国)外国人受入 環境整備交付金 3,832
公共交通整備促進費	70,523	バス生活路線維持費補助金 55,876 道南いさりび鉄道株式会社 経営安定化補助金 11,061 函館市地域公共交通協議会負担金 510 地域公共交通網形成促進費 ほか 3,076	
青函連絡船記念館摩周丸運営経費	12,009	青函連絡船記念館摩周丸管理委託料 ほか	(その他) その他の雑入 120
函館圏公立大学広域連合負担金	1,955,888	運営費分 1,421,312 公債費分 281,090 事務員費分 253,486	
地域デジタル推進費	4,597	地域デジタル推進費	

3 令和5（2023）年度公益財団法人北海道学術振興財団事業計画の報告について

（自 令和5（2023）年4月 1日
至 令和6（2024）年3月31日）

（1）事業計画

ア 情報科学を中心とする学術研究および学術交流の支援にかかわる事業
（定款第4条第1号に掲げる事業）

（ア）学術研究支援事業

情報科学分野の先端的な研究を支援するため、道南圏の高等教育機関の教員に対して、選考のうえ、1件あたり1,000千円を上限として、研究費の助成を行う。また、民間企業など外部機関と共同で行う研究についても、同額の助成を行う。

（イ）海外視察等支援事業

学術研究の交流を支援するため、道南圏の高等教育機関の教員・研究者、学部4年生（高等専門学校の専攻科の2年生を含む。）および大学院生の海外での学会参加および視察について、選考のうえ、1件あたり200千円を上限として、学会参加等経費の助成を行う。

（ウ）海外交流支援事業

学術研究の交流を支援するため、道南圏の高等教育機関の学部4年生（高等専門学校の専攻科の2年生を含む。）および大学院生の海外の高等教育機関への留学について、選考のうえ、1件あたり300千円を上限として、留学経費の助成を行う。

イ 学術研究成果の普及および科学技術の啓発にかかわる事業
（定款第4条第2号に掲げる事業）

（ア）学術研究成果普及事業

当財団の概要、事業実績等について、会報「北海道学術振興財団ニュース」の発行やホームページを活用し、広く周知する。

（イ）科学技術啓発事業

サイエンス・サポート函館が行う「はこだて国際科学祭」などと連携し、科学技術の普及、振興にかかわる活動を行う。

(2) 収支予算書

(単位:千円)

区分	科目		予算額	前年度予算額	増減	
	大科目	中科目				
事業活動の部の収入支	基本財産運用収入		4,365	4,365	0	
		基本財産利息収入	4,365	4,365	0	
	特定資産運用収入		335	448	△ 113	
		特定資産利息収入	335	448	△ 113	
	会費収入		50	50	0	
		賛助会員会費収入	50	50	0	
	雑収入		1	1	0	
		受取利息収入	1	1	0	
	事業活動収入 計 (A)			4,751	4,864	△ 113
	事業費支出			9,854	10,054	△ 200
		学術研究支援事業費支出		8,000	8,000	0
		海外視察等支援事業費支出		600	800	△ 200
		海外交流支援事業費支出		600	600	0
		学術研究成果普及事業費支出		114	114	0
科学啓発事業開催事業費支出		420	420	0		
その他事業費支出		120	120	0		
管理費支出			948	948	0	
	管理費支出		948	948	0	
事業活動支出 計 (B)			10,802	11,002	△ 200	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)			△ 6,051	△ 6,138	87	

(単位:千円)

区分	科目		予算額	前年度予算額	増減
	大科目	中科目			
投資	基本財産取崩収入		0	0	0
		基本財産償還収入	0	0	0
資産	特定資産取崩収入		7,722	34,493	△ 26,771
		助成事業積立資産取崩収入	7,722	34,493	△ 26,771
活動	投資活動収入 計 (D)		7,722	34,493	△ 26,771
収入	基本財産取得支出		0	0	0
		基本財産取得支出	0	0	0
の	特定資産取得支出		0	26,684	△ 26,684
		助成事業積立資産取得支出	0	26,684	△ 26,684
支	投資活動支出 計 (E)		0	26,684	△ 26,684
部	投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)		7,722	7,809	△ 87
収 支 差 額 (G)=(C)+(F)			1,671	1,671	0
予 備 費 支 出 (H)			100	100	0
当 期 収 支 差 額 (I)=(G)-(H)			1,571	1,571	0
前 期 繰 越 収 支 差 額 (J)			△ 5,659	△ 5,506	△ 153
次 期 繰 越 収 支 差 額 (K)=(I)+(J)			△ 4,088	△ 3,935	△ 153

4 令和5（2023）年度一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構事業計画の報告について

〔 自 令和5（2023）年4月 1日 〕
〔 至 令和6（2024）年3月31日 〕

（1）事業計画

ア 水産・海洋に関する学術研究機関の集積に関わる事業

（定款第4条第1項第1号に掲げる事業）

函館市国際水産・海洋総合研究センター（以下「海洋研究センター」という。）の入居機関をはじめ、地域の学術研究機関や企業との産学官連携を促進することで、地域が抱える水産・海洋関連の様々な課題に対し、学術研究機関が有する知見を活かし解決を図るとともに、新たな学術研究機関や企業、学会などの誘致活動を通じて、関連機関の集積を促し、水産・海洋分野の研究開発拠点の構築を目指す。

また、包括連携協定を締結している国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）とは、引き続きモニター報告会の開催や学術研究の交流など連携強化に向けた取り組みを進める。

イ 地域と学術研究機関の連携に関わる事業

（定款第4条第1項第2号に掲げる事業）

学術研究機関や水産・海洋関連企業などに対し、共同・受託研究事業等の企画提案とその推進を図る。

また、各種競争的研究資金の獲得に向けた情報収集や情報提供に努めるとともに、地域の産業・経済界をはじめ学術研究機関や企業などを繋ぐコーディネート機能を活かし、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえて、主要水産物であるイカやコンブをはじめ、新たな水産物や未利用資源などへ着目した新分野における研究開発の発掘など、地域と学術研究機関が連携した地域の活性化に資する事業を促進する。

さらに、令和4年度から取り組んでいる「地方大学・地域産業創生交付金事業」については、函館市や北海道大学等と連携し、引き続き地域の戦略的魚介藻類の持続可能な生産に関わる研究開発事業を推進する。

ウ 観光と学術研究機関の融合に関わる事業

（定款第4条第1項第3号に掲げる事業）

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響により、海洋研究センターを訪れる利用者が減少しているが、今後のアフターコロナを見据えた事業展開を図るべく、特に地元の小中学生や修学旅行生向けの「イカ・サーモン」に関する体験学習の充実を図る。

また、「いか祭り」などの地域で行われるイベントにも積極的に協力・参加して、地域振興に貢献する。

エ 水産・海洋と市民生活の調和に関わる事業

(定款第4条第1項第4号に掲げる事業)

市民一人ひとりがもっと「海」を知り、「海」と親しみ、「海」と生活との関わりを深めることで、函館国際水産・海洋都市構想への関心を高めてもらうことを目的に、「海」をキーワードとした市民参加型イベントとして「函館マリンフェスティバル2023」を海洋研究センターを会場に開催する。

また、市民に函館の豊かな水産資源に関する学習機会を提供するための水産・海洋教育プログラムの実施や、海洋研究センター入居機関による「研究成果報告会」などを開催するほか、大型実験水槽での実験の一般公開による研究紹介、エントランスホールの展示内容の充実を図るなど、入居機関のアウトリーチ活動を支援する。

オ 水産・海洋分野等に関わる調査・研究に関する事業

(定款第4条第1項第5号に掲げる事業)

近年、スルメイカ漁業の不振によりイカの原料不足が課題となっており、イカの流通・加工業界では極めて厳しい状況下にあることから、引き続き「函館頭足類科学研究所」において、イカの生態や資源変動について調査・研究を行う。

また、ブリやクロマグロ、タラ類を含む漁業対象種については、環境の変化に応答する資源変動の解明と将来予測をはじめ、高鮮度付加価値化や有効利用に関する啓発活動を推進するなど、新たな産業の創出に向けた支援を行う。

なお、当機構が地域の学術研究機関や海洋研究センター入居機関と実施する受託研究・共同研究にも引き続き取り組む。

カ 広報に関わる事業

函館国際水産・海洋都市構想および海洋研究センターに関するパンフレットやニュースレターを発行するとともに、ホームページの管理運営やメールマガジンの配信について内容の充実を図るなど、きめ細かな情報の提供に努める。

キ 海洋研究センターの管理運営に関わる事業

海洋研究センターの指定管理者として、フォーラム機能（貸研究室業務や各種団体活動のための場所の提供）やシンクタンク機能（研究開発や技術開発の支援と知財の集積）、ハブ機能（入居学術研究機関と企業との産学連携の促進）の充実を図るなど、施設の効率かつ効果的な管理運営に努める。

また、海洋研究センターが供用開始されて10年目を迎えることから、施設・

整備の継続的・安定的な稼働を維持するため、計画的な修繕に努める。

なお、新型コロナウイルス感染症に対しては、国等の対応指針などに基づく対策を講じ、安全・安心な施設の運営に努める。

(2) 収支予算書

(単位:千円)

区分	科目		予算額	前年度予算額	増減
	大科目	中科目			
事業	基本財産運用収入		0	0	0
		基本財産利息収入	0	0	0
	事業収入		138,824	140,411	△ 1,587
		函館市受託事業収入	138,824	140,011	△ 1,187
		研究受託収入	0	0	0
		検定料収入	0	400	△ 400
	補助金等収入		15,086	15,224	△ 138
		国庫補助金収入	0	0	0
		地方公共団体補助金収入	14,386	14,524	△ 138
		民間助成金収入	200	200	0
受託研究費収入		500	500	0	
雑収入	雑収入	92	92	0	
	雑収入	92	92	0	
	受取利息収入	0	0	0	
支	事業活動収入計 (A)		154,002	155,727	△ 1,725
の	事業費支出		2,067	2,717	△ 650
		観光と学術研究機関の融合事業費支出	0	599	△ 599
		水産・海洋と市民生活の調和事業費支出	1,574	1,614	△ 40
		広報に関わる事業費支出	493	504	△ 11
部	受託事業費等支出		139,524	140,711	△ 1,187
		函館市受託事業費支出	139,024	140,211	△ 1,187
		研究受託支出	500	500	0

(単位:千円)

区分	科目		予算額	前年度予算額	増減
	大科目	中科目			
事業活動収支の部	管理費支出		12,411	12,299	112
		管理費支出	12,411	12,299	112
		その他支出	0	0	0
	事業活動支出計 (B)		154,002	155,727	△ 1,725
	事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)		0	0	0
	予備費支出 (D)		0	0	0
	当期収支差額 (E)=(C)-(D)		0	0	0
	前期繰越収支差額 (F)		0	0	0
	次期繰越収支差額 (G)=(E)+(F)		0	0	0